



海老原誠治 (えびはら せいじ)

いただきます.info事務局、三信化工株式会社、資源と環境と教育を考える会「エコが見える学校」、女子栄養大学短期大学部非常勤講師、関東学院大学非常勤講師。和食器を用いた出前授業や、テレビ局の撮影クルーの経験を生かして動画作成の研修会の講師も務める。

屋外撮影メモ・欲しい物リスト

生産現場や食品工場・食にまつわる行事など、屋外やさまざまな施設で撮影する機会は少なくありません。屋外の現場では、機材が足りずに焦ることもあります。充電などが足りなくなり、途方に暮れることもあります。筆者の経験から、事前の荷物チェック表を兼ねた、屋外撮影に必要な備品をリスト化しました(表1)。

▶ 便利な小物

100円ショップに行くと、スマホ用の防水ケースがあります。ケースの上からでも、指紋認証以外の操作ができます。これがあると、雨天や汚れる現場でも安心して使えます。首から下げられるので、両手も空き、結構便利です。

表1 屋外撮影に必要な備品リスト

機材・備品	備考 (※すべてが必須ではありません。該当する部分のみ確認用にお使いください。)
ビデオカメラ	ビデオ対応のデジタルカメラや、スマホのビデオモードでも可。
バッテリー	予備があればベスト。最低でも当日までに十分な充電を完了させること。
充電器	スマホや、USBで充電できるカメラ用に、電池式の充電器などがあると安心。PCを持って行くと、非常時の電源として使用できる。
予備カメラ	ビデオ対応のデジタルカメラ、スマホのビデオモードでも可。トラブル対応に。
三脚・自撮り棒	あると良い物。自撮り棒は、高い目線からの撮影にも使用できる。
SDカード等	予備の記録用カードがあると安心。ない場合には、事前に空き容量の確認をする。ある程度容量の大きい物を購入すると良い。
イヤホン	生産者のインタビューを撮る時など、録音を確認できる。特に、機械の音や車の雑音などで、声が潰れていないかなど、確認は必要。
ワイドコンバーター	広角レンズ、あれば良い物。スマホ用のクリップタイプのカメラレンズでも可。
ハンカチ等	ホコリなどで汚れやすいので、レンズが拭ける物。ガーゼ等でも可。
タオル	現場によって、水や泥が跳ねて汚れるため。ウェットティッシュ等でも可。
スマホ・アプリ	カメラのリモコンとして使えるスマホの場合、アプリを事前にダウンロードする。
スマホ防水ケース	スマホをリモコンにする場合など、ストラップとしても使える。
ネックストラップ	デジカメやスマホを首から下げるための物。ビデオとデジカメを同時に記録する場合、両手が空くと便利。給食室等で撮影する場合も、カメラの落下防止になる。
ノート、サインペン	取材メモや、メッセージ(カンペ)出しなど。スケッチブックでも良い。
帽子(夏場)	日除け。影ができると、ファインダーやモニターが見やすい。
長靴	現場によって、足が汚れるため。着用することで撮影範囲が広がる場合がある。
撮影に合った服	反射物で映り込みもあるので目立たない色や柄、動きやすく汚れても良い服装。



◀ 百円のスマホ用
防水ケース



◀ クリップタイプのスマホ
用カメラレンズセット。

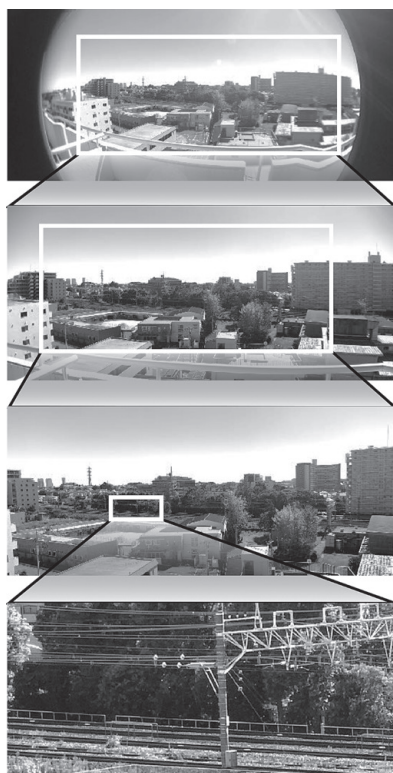
表2 あったら便利な機材リスト

機材	備考
ハードディスク	記録は財産になる。
予備バッテリー	切れると、撮影自体ができなくなる。
三脚	安定した画像には必要。
ワイドコンバーター	映せる範囲が広がる。

少しお金は掛かりますが、スマホ専用のカメラレンズも使い道が結構あります。特に給食室内の撮影を考えている方にはおすすめします。接写レンズや、魚眼（フィッシュアイ）・広角・望遠等がセットで、3,000円以下でも入手できます。写真（右上）のレンズ比較を参考にしてみてください。

▶ 便利な機材

この連載では、極力お金をかけないことを前提としていますが、もし予算をかけるなら、何が必要でしょうか？ 強くおすすめしたいのが、外付けのハードディスクです。前提としてPCやハードディスクは、1～5年である程度が壊れます。長く使用すると必ずトラブルも生じます。一度失われた記録は戻らないことも多く、仮に再度撮影するにも、膨大な時間や手間・交通費等を要します。ですから、単に記録保存用



◀ スマホのレンズ比較。一番上がクリップタイプの魚眼レンズ、非常に広い範囲を撮影できるが、大きな歪みが生じる。二番目はクリップタイプの広角レンズ、魚眼よりは狭いが、やや広い範囲を撮影できる。三番目はスマホ標準の広角、クリップタイプのレンズよりは少し狭くなるが、広い範囲を撮影できる。四番目はスマホ標準の望遠（×10）で撮影。

ではなく、2重での保存＝バックアップ用のハードディスクが必要です。今なら、容量が4TB（テラバイト）で1万円ほどです。

予備バッテリーも重要です。現場で電池切れが起きると、手も足も出ません。長時間撮影なら、なおさら必須となります。

また必須ではありませんが、おすすめしたいのは、ワイドコンバーター（広角レンズ）です。近寄れるので声も拾いやすいですし、給食室や狭い場所でも有効です。筆者の場合、望遠撮影以外では、常に付けています。メーカーの純正製品は高価なので、他のメーカーでも良いと思います。変換リングもありますが、ネジ口径に注意が必要です。前述のクリップタイプレンズを付けて、一部スマホで代用する方法もあります。

【稲の収穫のデータ提供：「いただきます.info」で動画素材を提供しています。ご活用ください。<https://itadakimasu.info>】

【コンテンツ作成協力：（一社）はしわたし研究所】

【郷土料理データ提供：ロケーションリサーチ（株）】